

# 壁スイッチ ケース付き電動スクリーン 取扱説明書 [WCKシリーズ]

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後は、いつでも読むことのできる場所に大切に保管してください。



**リモコンの初期設定をしないと動作しません**  
※必ず「スクリーン下限停止位置設定」を行ってください

## 設置前の注意点

### ■ マウントブラケット2の取付け方法について

マウントブラケット2を取り付ける面(天井・壁)の下地はその設置場所において石膏ボード、木材、コンクリート等 いろいろなケースが考えられます。

製品設置に関して自信のない方は、大工さん・電気屋さん・内装業者など専門業者に依頼することをおすすめします。

設置施工者はご自身の判断において、設置場所下地の確認後、確実に固定してください。下地がない場所に設置しますと、落下事故の恐れがあります。

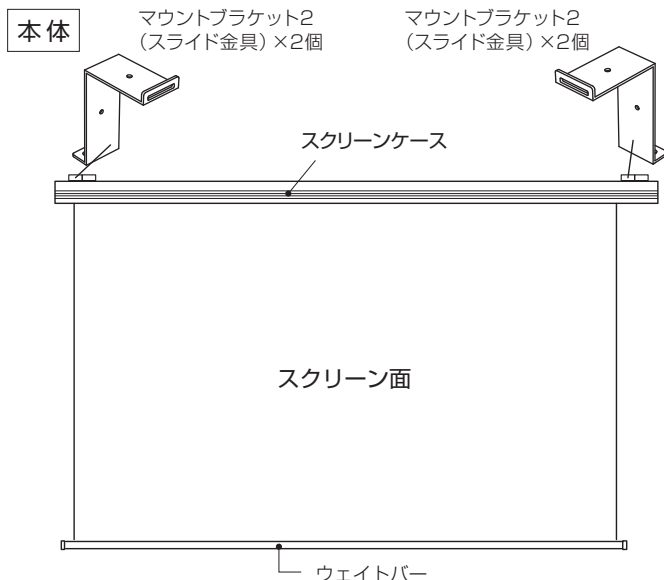
### ■ 下地についての注意点

石膏ボードを材料とする面へのスクリーン設置は、落下の原因となるため取り付けできません。石膏ボードアンカーも落下の危険があるので使わないで下さい。やむをえず取り付けられる場合には、予め石膏ボード裏に下地として厚み12mm以上のベニヤ板を仕込んでおくことを推奨します。強度ある下地部分にネジを留めるようにして下さい。

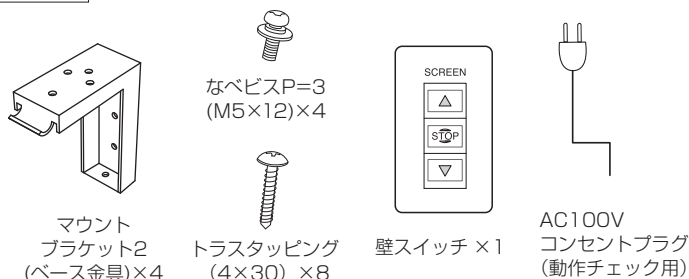


株式会社 シアターハウス  
〒910-0122 福井市石盛町613  
TEL 0776-56-0325 / FAX 0776-56-2647  
e-mail shop@theaterhouse.co.jp

## 製品各部の名称



## 付属品



## スクリーン設置方法を動画で見る

右のQRコードより、スクリーンの設置方法を動画でご確認いただけます。



## リモコンの設定方法を動画で見る

右のQRコードより、リモコンの設定方法を動画でご確認いただけます。



## 製品保証について

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で故障した場合、裏面「保証について」の免責事項を除き、10年保証とさせていただきます。

**修理時の製品取り外し、ご返送等の運送手配についてはお客様側でのご対応となります。**

※QRコードをご確認ください。  
製品保証について →



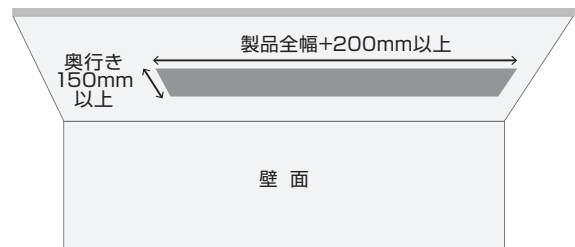
## 製品各部の名称

## スクリーンの設置方法 (取付場所の注意点)

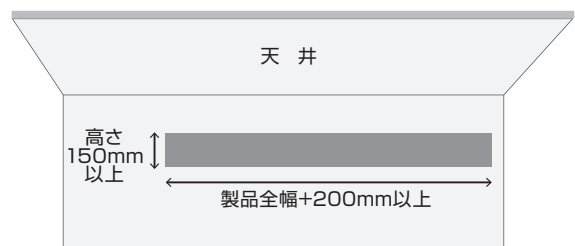
### スクリーン用下地の準備する

重量があるスクリーンの設置となりますので、必ず下地が必要です。下地として、ベニヤ板(コンパネ)の厚さ12mm以上をスクリーンの取付け位置に準備してください。下地の取り付けは、製品落下の心配がないよう確実に取り付けてください。

### 天井付けの場合

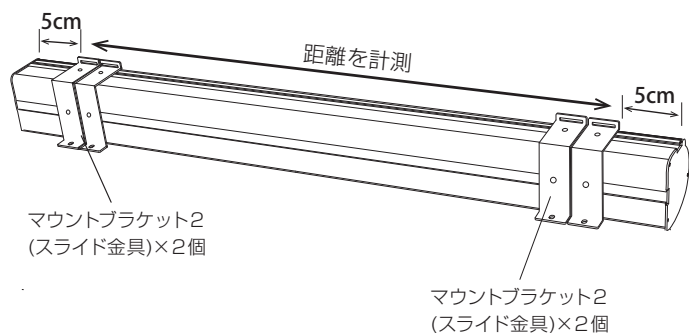


### 壁付けの場合



① マウントブラケット2(ベース金具)の取付け位置を決める

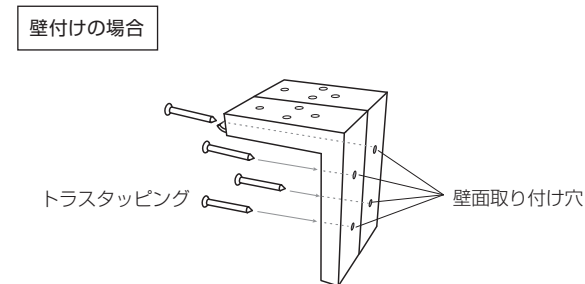
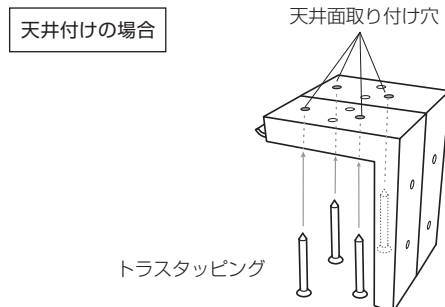
工場出荷時にスクリーン本体にマウントブラケット(スライド金具)が片側2個ずつ、合計4個が固定されています。  
スクリーン両端より**5cm内側の位置**に固定されていますので、スクリーン設置前に両端のマウントブラケットの間の距離を測ります。  
スクリーン設置場所に計測した距離を鉛筆などで印を付けます。



⚠ マウントブラケット2(スライド金具)の位置を変更すると、スクリーンが正常に動作しなくなる可能性があります。必ず工場出荷時の取付け位置にて設置してください。

② マウントブラケット2(ベース金具)の取付け

印を付けた位置に付属品のマウントブラケット2(ベース金具)の取り付けます。取り付け穴を利用し、天井または壁面にトラスタッピングを2本ずつ使用し、しっかりと固定します。マウントブラケット2(ベース金具)は左右片側2個ずつ使用し、並行に取り付けてください。



③ マウントブラケット2(ベース金具)にスクリーンを引っ掛ける

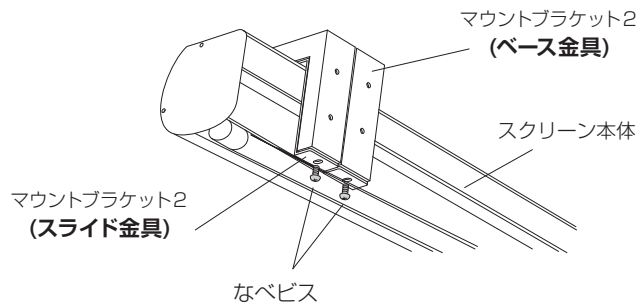
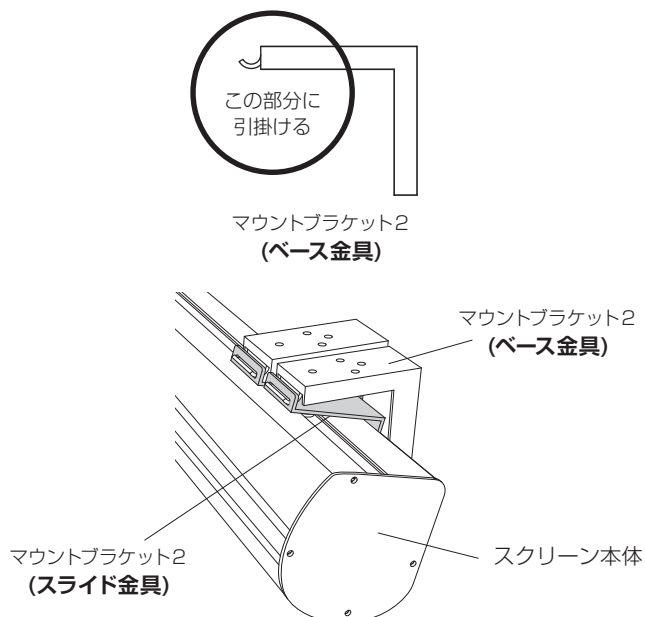
天井または壁に固定したマウントブラケット2(ベース金具)にスクリーンを固定します。マウントブラケット(ベース金具)のフック部分にスライド金具穴を確実にひっかけてください。

⚠ スクリーン本体はかなり重量がありますので、取付作業は必ず2人以上で行ってください。

④ スクリーン本体を取り付ける

最後にマウントブラケット2(スライド金具)の下穴とマウントブラケット(ベース金具)のビス穴に合わせ、ドライバーなどでなべビス(各1本ずつ)をしっかりと締めます。

⚠ なべビス(P=3 M5×12)が確実に締まっているか確認してください。脱落の危険があります。



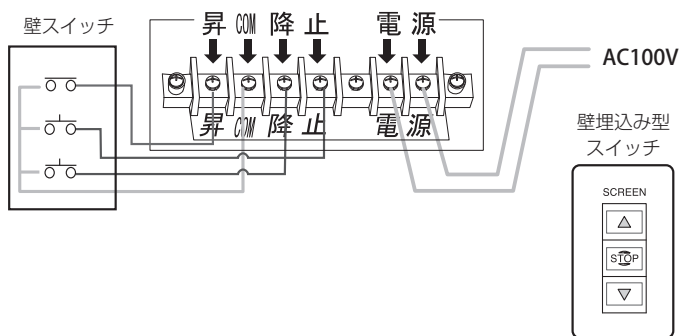
## 壁スイッチの結線方法

① 電源を切ってからスイッチカバープレートを外し、電源線・操作線を結線する。

※付属の電源コードは動作チェック用です。電源線はφ1.6×2C（入力 AC100V）で配管配線工事は別途となります。

※操作線は 0.75sq×4C（VCTF 相当）で、配管配線工事は別途となります。

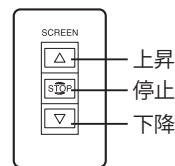
② 配線が正しく行われているか（他の線と触れていないか）を確認し、カバープレートを取り付けて電源を入れてください。



**注意** 結線後、電源コードを入れたらスクリーンの「下限停止位置設定」を行ってください。設定しないと動作しません。

## スクリーン下限停止位置設定

工場出荷時にはスクリーンがすべて降りて自動停止するようになっております。スクリーンを希望位置で自動停止させるには、下の手順通り「スクリーン下限停止位置設定」を必ず行ってください。



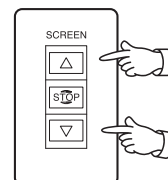
### スクリーン下限停止位置の設定方法

① スクリーン設置後、下降スイッチ(▼)を押すとスクリーンが降ります。スクリーンがすべて降り自動停止するので、スクリーンが止まるまで操作をしないでください。

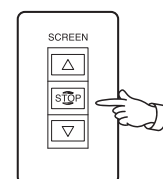
② スクリーンが停止したら、右図のように上昇スイッチ(▲)と下降スイッチ(▼)を同時に7秒間押し続けます。スクリーンが小さく上下に一度だけ動いたら「設定モード」に入った合図となりますので、スイッチを押すのを止めてください。

③ 上昇スイッチ(▲)と下降スイッチ(▼)を使って、希望する位置に合わせます。設定モード中はスイッチを押したときだけスクリーンが昇降します。

④ スクリーンの停止位置が決定したら、ストップスイッチを3秒間以上押しつづけます。先の②と同様にスクリーンが小さく上下に一度だけ動いたら、下限位置が設定完了となりましたので、スイッチを押すのを止めてください。



同時に7秒間押す



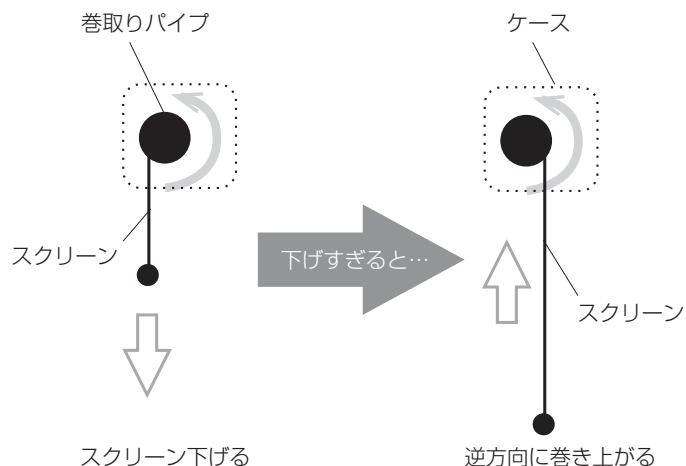
3秒間以上押す

## スクリーン下限停止位置設定

**注意** スクリーン下限停止位置の設定時の注意点

スクリーン下限停止位置設定時にスクリーンを下げすぎるとスクリーンが降りきってしまい、巻取りパイプにスクリーンが通常とは逆方向に巻き上がってしまいます。

スクリーン停止位置設定の際には、必ずスクリーン開口部のスクリーン巻取りパイプの状態を確認の上設定してください。



### 壁スイッチの連続操作の注意点

壁スイッチは、省電力モードの関係で、5秒以上連続して操作することができません。

5秒間連続してボタンを押していると信号が2秒だけ切れるようになっております。故障ではございませんので安心してご利用ください。

2、3回程の上げ下ろしなどでは問題ありませんが、スクリーン昇降操作を短時間で何度も行いますと、ボタンを押してもスクリーンが動作しなくなる場合があります。

モーター保護回路が働いたため、モーターが焼け焦げることがないよう、ある一定の温度になると停止するようになっております。

その場合、30分ほどおくらせて元通りに動作するようになります。

## 故障かな？と思ったら

### スクリーンが動かない ※まずは下記の項目をご確認ください。

- ・電源が確実に接続されているか確認する。
- ・ブレーカーがONになっているか確認する。
- ・接続ケーブルが確実に接続されていることを確認する。
- ・モーター内部の熱感知装置が動いている場合は、自動復帰するまでしばらく待つ。

### セットモードに入らない

工場出荷時には30cm程度下降して自動停止するようになっております。壁スイッチの下降スイッチ(▼)を押し、スクリーンがそれ以上降りない事を確認し自動的に止まるまで待ちます。上昇スイッチ(▲)・下降スイッチ(▼)を同時に5秒間押し続けると下限停止設定モードに入ります。

### 停止スイッチを押すとスクリーンが動く

「中間停止機能」が設定されてしまったため、解除してください。任意の位置で停止(STOP)スイッチを押すとスクリーンが動きません。停止した位置で停止(STOP)スイッチを5秒間押し続けます。スクリーンが小さく上下に動き、中間停止機能が解除されます。


### 動作中に音がする


**共鳴音** (※音にはいくつか種類がございます。下記をご確認ください)

共鳴音であれば、スクリーン本体のモーターを触ると音がなくなります。スクリーンを取り外しブラケットのネジを締めなおしたり、振動が壁を伝わり他の家具が共鳴している可能性もございます。ご確認ください。



## 安全上のご注意

安全上に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。誤った使用をした場合、事故により使用者が重傷を負う危険性があるものを「警告」、傷害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを「注意」として明記しています。



 気をつける必要があることを表しています。

 してはいけないことを表しています。

### 警告 ⚠

- |   |   |
|---|---|
|  | ・この製品は非防水です。浴室や屋外等の湿気、水気の多い場所での使用はできません。感電や絶縁不良の原因になります。<br>・分解・改造は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。 |
|  | ・取り付けは製品重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実に行ってください。落下時によるけが・故障の原因になります。                                     |

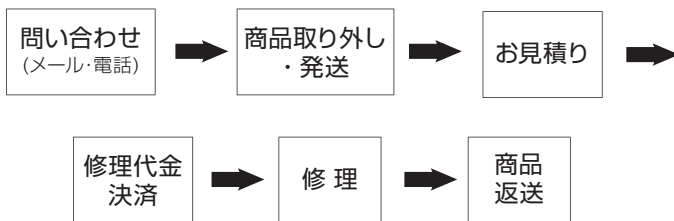
### 注意 ⚠

- |   |  |
|---|--|
|  | ・コンセントの取付工事が必要な場合は必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の工事は法律で禁止されています。<br>・コンセントを使用せず圧着端子による接続はしないでください。万が一の非常時に取り外しができません。<br>・この製品はモーターの力で昇降します。急激な手動での作動はしないでください。モーター・ギヤの故障の原因となります。  |
|  | ・この製品は屋内専用です。室温0~40度の範囲内で使用してください。サウナ、湯沸かし器近く、ボイラー室等では仕様しないでください。<br>・器具やスクリーンをシンナー等の揮発剤の物で拭いたりしないでください。変型や割れ、変色の原因となります。<br>・ボトムバーやスクリーンに物を吊るしたり貼らないでください。重荷が大きくなり、上昇・停止ができなくなります。<br>・スクリーンの昇降する範囲に障害となるものや破損するような物は置かないでください。 |

## 修理のご依頼について

修理お問い合わせの前に症状の対処方法をご確認ください。

※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「修理のご相談について」をご覧ください。



【注意】商品の取り外し・再取り付けにかかる費用・商品返送の運送手配については、お客様側での対応となります。

### スクリーン生地の張替サービス

製品ご購入後10年以内であれば、スクリーン張替え(幕面交換)サービスが受けられます。(有償サービス)

※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「スクリーン生地の張替サービス」をご覧ください。

## 製品仕様

仕様電圧	AC100V 50Hz / 60Hz
モーター回転数	50Hz 32R.P.M / 60Hz 38R.P.M
消費電力	(モーター回転時) 最大 100W

## 製品保証について

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で故障した場合、下記の免責事項を除き、10年無償保証とさせていただきます。

製品保証の免責事項として、下記をご確認ください。保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

### 保証の免責事項

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) 当社の取扱書、カタログ等に記載されている使用条件環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷
- (3) 当社指定以外の他社商品との特殊な組合せ及び使用による故障及び不具合
- (4) 施工上の不備に起因する故障及び不具合
- (5) お買い上げ後取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (6) 火災地震、水害落雷、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障及び損傷
- (7) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- (8) 法令で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷
- (10) 経時変化によるスクリーン生地の日焼け、汚れ、ホコリなど

保証期間	お買い上げ 年 月 日から 10年間
お客様	お名前
	ご住所
	TEL

ご購入時にお客様ご自身で記入ください